

# 不在のためマイナンバー通知カードを自宅で受け取れなかった方へ

11月中旬から住民票の登録地に、ご自身のマイナンバーが記載された「通知カード」を簡易書留(転送不要)で送付しました。事情により受け取ることができなかった方は、住民課窓口(役場行政棟1階)で受け取ることができますので、お早めにお越しください。なお、同一世帯であれば、世帯主以外の方でも受け取り可能です。

7時までとなります。

## 【持参するもの】

窓口に来る方の本人確認書類 ※運転免許証やパスポートなど写真付きの公的証明書(いずれか1点)、または健康保険証・年金手帳・通帳など(いずれか2点)が必要となります。

## 【問い合わせ】

住民課住民担当(☎282-1711 内線1125)



マイナンバーキャラクター  
マイナちゃん

## 【日時】

月曜日から金曜日まで(祝日を除く)の午前8時30分～午後5時15分 ※第1・3木曜日のみ午後

ふるさと歴史訪



～歴史を再発見～

## はやり神・外宿十萬地蔵尊

旧東海村民俗調査の会代表

佐藤 美智子

水戸藩第九代藩主徳川斉昭は、天保の改革で寺院二百数十か所の処分を行い、天保15(1844)年2月には、石仏・石塔の処分に着手しました。『水戸藩史料』別記一三には、「地蔵観音等ノ仏体彫付、路傍へ立置候分、すべて往還ニ隔候空地へ取集候様、且又庚申・廿三夜塔の類(文字彫付候分ハ、文字相消、追分等ニ相用候様可被致候)」とあります。女人信仰の対象であった石仏たちは、こうして路傍から姿を消しました。

大正12(1923)年、何人もの夢枕に地蔵が立ちました。それこそが長松院末寺願成寺跡に立つ「地蔵十萬人 長福十二代善長印施」と、自然石に大書された地蔵でした。十萬様にお詣りした女たちは全て安産であったと伝わり、近隣の女人たちの間に地蔵への信仰が急速に広まりました。

願成寺住職は「十萬地蔵和讃」を作り、長松院住職は安産と子育ての仏である如意輪観音と、十萬地蔵をセットにした掛け軸を作るなどして、



○外宿場の十萬地蔵堂

○「水戸岩城道中覚」より  
 在律 志摩の地蔵 十萬地蔵  
 願成寺住職 長福十二代善長印施  
 如意輪観音 十萬地蔵

信仰の発展に一役買いました。地蔵様におすがりした女たちは全て安産したと言いはやし、近隣の女たちの信仰を集めました。こうして十萬地蔵は、立派なはやり神(流行神)として盛時を迎えました。

明和9(1772)年10月付の『水戸岩城道中覚(仮称)』という道中案内記があります。これは、小田切伝兵衛安旨が、相馬藩主の江戸参府の折に追従して書いたものとされます。相馬中村から千住までの宿場・河川・寺社・名物・伝承等が書かれており、文中には森山・大橋・田中内・石神と続き、「石神巷里十七丁 本陣寺門助右衛門・四郎右衛門 宿の出離レ願成寺」という寺二はやり地蔵堂有(以下略)」とあります。この願成寺とは、願成寺のことでしょう。

多くの人(十萬人)を救いたいと願って造立し、寛保3(1743)年に亡くなった善長師の十萬地蔵尊は、このころ、はやり神として存在していたことが分かります。

さて、三度目のお盛りはあるのでしょうか。